



わかむぎ

No. 5 令和6年8月16日 <発行者：校長 池田 尚>

「暑い夏！感動的な夏！」～多くの成果が残せた県大会～

7月20日（土）から7月30日（火）の間で県大会が開催されました。3年生にとっては、ほとんどの部が最後の大会になります。これまで仲間と取り組んできた成果を結集し、全力で臨みました。私も、各部の応援に行きましたが、どの部も最後まで頑張り抜き、感動的な試合を見せてくれました。

全力のプレー、そして全力の応援、一つの目標に向かって一緒に努力してきた仲間だからこそ、「一試合でも多くこの仲間とプレーしていきたい！」と思えるのでしょう。

3年生のみなさんはここで引退となる生徒も多いと思いますが、これまで本当にお疲れ様でした。そして感動をありがとうございます！



関東大会出場の報告会 ～塩澤町長さんへ～

8月2日には、関東大会出場となった部や個人で出場となった生徒による町への報告会がおこなわれました。各部の代表が大会に向けての抱負を述べ、塩澤町長さん、太田教育長さんから激励の言葉をいただきました。関東大会は8月8日から8月11日の間でおこなわれ、次の部が出場しました。（吹奏楽部は9月7日が西関東大会になります。）

<関東大会出場の団体>

吹奏楽部、卓球女子

<関東大会出場（個人）の選手>

卓球 斉藤輝之介、細窪真那、村松玲奈

陸上 中村優花（共通女子100m）

石澤琉叶（共通男子100m）

遠藤靖治（1年男子100m）

水泳 水泳女子（4×100mメドレー、フリーリレー）

加賀美花、白戸咲歩、伊東美海、河西結生

加賀美花（女子背泳ぎ200m、自由形100m）

伊東美海（女子平泳ぎ100m、200m）

河西結生（女子自由形400m、200m）

八木野純平（男子自由形50m、100m）



各部の代表からの決意→
「一生懸命、頑張ります！」

←塩澤町長さんが一人一人に
握手で激励してくださいました。

地域とともにある学校 ～地区別協働防災への参加～

押原中学校は地域とともにある学校づくりを強力に推し進めています。一町一校の強みを生かし、町の各行事と連携しながら中学生が地域の歯車の中で大きな力となり、地域と学校が一体となった取り組みを大切にしています。

本年度も9月1日におこなわれる町の防災訓練には、全校生徒が参加します。その上で、各地区において中学生に何ができるのか、また、地域が中学生に期待することは何かなどについて区長さんたちと相談する機会を設けていただきました。

また、毎年2年生が取り組んでいるDIG（災害図上訓練）の発表も取り入れていただきながら、地域と一体となって災害時への備えと意識向上に取り組めます。



<訓練当日の内容について各地区の区長さんたちと、入念に打合せをおこないました。>

若麦祭の取り組みが始まりました

本年度の若麦祭は9月18日、19日の2日間でおこなわれます。1日目に文化部門、2日目に体育部門をおこないます。7月12日には第1回実行委員会が開かれました。また、1年生から3年生までの縦割りブロックでの取り組みもスタートし、3年生が1、2年生をリードしながらの体育部門の打合せも始まっています。



本年度も、会場の関係で、保護者のみなさんの参観は体育部門のみとなってしまいますことをご了承ください。（※文化部門はYouTubeの限定配信にてご覧いただけます。）